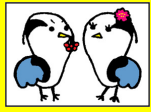


～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り



平成 26 年 9 月 19 日 (NO.29)

浦幌町教育委員会
浦幌町教育研究所

全国コミュニティ・スクール 研究大会 in 下関

2つの目の発表は、今回の大会地山口県からの実践です。浅江地区は昔から「あさなえ」と呼ばれ親しまれてきました。そこから、「あさなえネット」とCSの名称を定めました。

実践発表編 PART2

共通テーマ：「地域の力を学校へ 学校の力を地域へ ～地域とともにある学校～」

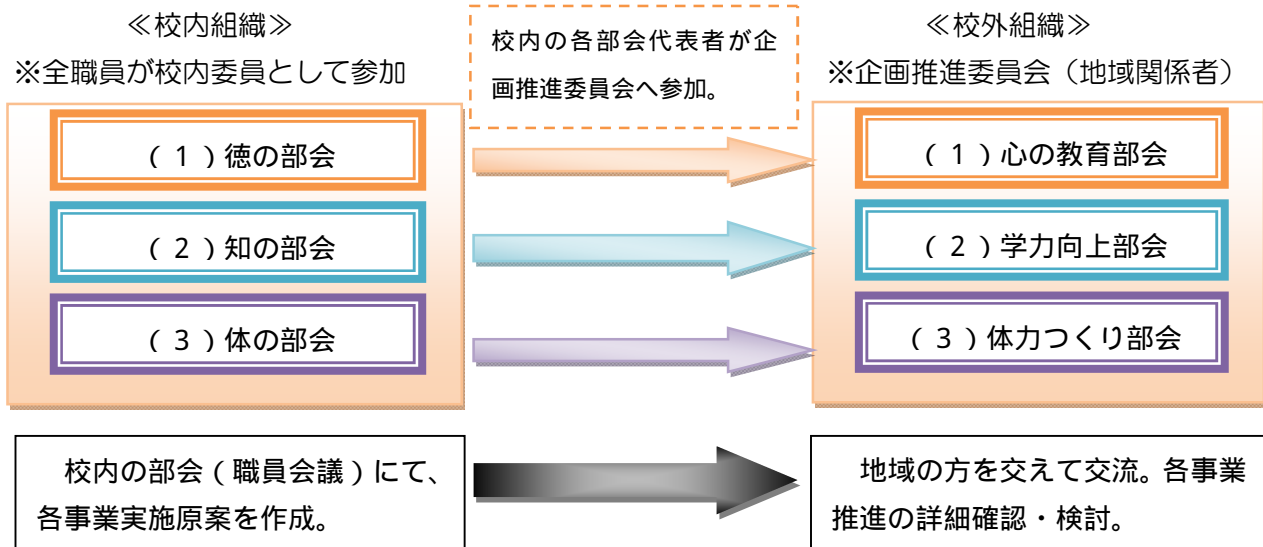
実践発表2：山口県光市浅江中学校（あさなえネット）

【「あさなえネット」メインテーマについて】

「地域と保護者、学校が知恵を出し合い、未来を担う人材を育成する」

【「あさなえネット」の組織について】

※校内の組織と校外の組織（企画推進委員会）を融合している。



◎学校で事業計画の原案を全職員で作成し、企画推進委員会
で事業計画を整理。その後、学校運営協議会にて検討。

◎年 4 回の会議。（企画推進委員会→学校運営協議会）

- 1 回目…経営方針及び活動内容についての協議・承認
- 2 回目…各部会の活動状況・現状報告
- 3 回目…学校評価の結果・考察
- 4 回目…次年度の活動計画

【成 果】

- ◎地域行事に参加する教育的価値を高めた。
- ◎地域行事やボランティア活動に自主的に参加する子どもが増えた。
- ◎地域とかかわり、認めてもらえる場面が増え、自己有用感が向上した。
- ◎地域にかかわり、地域を知り、郷土愛が深まった。（町づくりの基盤にも反映）

※「学校から地域へ出る」ではなく、地域の方に学校に足を運んでいただく。

地域コーディネーターが中心となり、将来的には、学校が子どもと地域の交流の場を目指したい。

学校運営協議会

【構成】

- 公民館（中心）
- 青少年健全育成会
- 自治会連合会
- 社会福祉協議会 等...